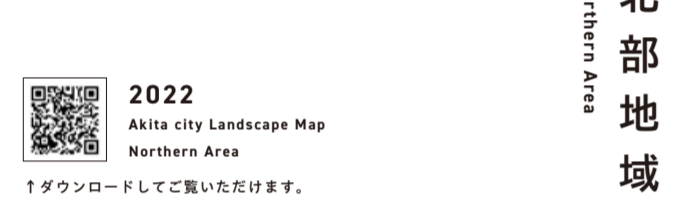




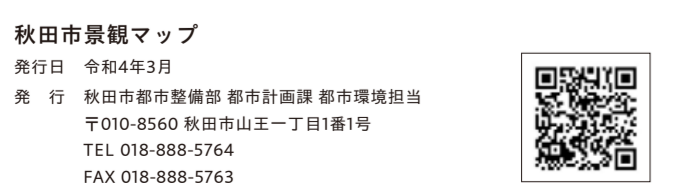
秋田市内を7つのエリアに分け、よりすぐりの景観を紹介します。



Information 秋田市おすすめ情報サイト・SNS



秋田市では四季折々の風景、自然、歴史、伝統、食文化といった魅力を国内外に向けて発信するため、秋田市公式Instagram (インスタグラム) を開設しています。

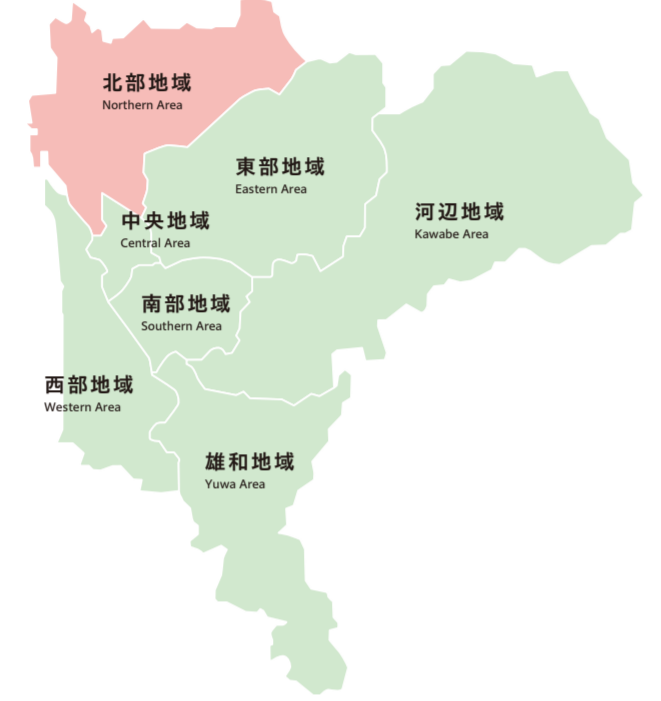


※掲載のデータは2022年3月時点のものです。発行後に変更になっている場合がございますので、あらかじめご了承ください。

秋田市景観マップ | Akita city Landscape Map

北部地域 Northern Area

秋田港を中心とした北部地域には歴史ある街並みや田園、丘陵地など豊かな自然環境があります。秋田港は港湾機能に加えて国内外観光客の交流の場。土崎地区には港町として栄えた歴史があり、羽州街道沿いでは歴史的な寺院や農家建築、商家等を活かした景観づくりが行われています。



秋田市景観マップって？ 秋田市の景観資源（風景、眺め、まちなみなど）を後世に残すため、各地域の景観資源を再確認しながら新たな景観資源を発見していきました。

北部地域 | Northern Area

2 小泉湯公園 (県立博物館の桜並木) 昭和50年(1975年)に開館した秋田県立博物館。考古・歴史・民俗・工芸・生物・地質の6部門などからなる総合博物館であり、展示だけでなく、調査研究活動等も持っている。女湯を囲むように桜並木が続いており、車に乗りながらお花見ドライブができる。

3 四つ屋街道のイチョウ並木 昭和62年(1987年)に市民に親しまれる道路愛称により「四つ屋街道」と名付けられた。その街道を象徴するものが、整然と植樹されているイチョウの木々である。夏は青々とした緑で通りを染め、秋になると黄金色のイチョウが輝き、遠く太平山の山並みを望むことができる素晴らしい景観である。

4 将軍野南三丁目の3本の松 かつて秋田市で運行していた路面電車、秋田市電遊園地停留所のあった場所にある3本松。当時から変わらぬ姿を留めており、往時の隆盛を今に感懐させる。

5 草生津川岸の桜並木 草生津川沿いにある八橋地区から寺内地区のコスモロードを散策しながら多くの市民が桜並木を楽しんでいる。外旭川市営住宅団地を流れる支流の両岸にも素晴らしい桜並木があり、自然景色を楽しむことができる。

いつもの場所、知らない景色に会いに行く。

10 港の風景 土崎側に倉庫、運河の向こうには工場や貨物船が展望できる壮大な風景。北前船の寄港地として古くから日本海に開ける海上の要所として発展してきた秋田港。年間を通して子供も楽しめる人気の釣りスポットでもある。

10 港の風景 (セリオンの夜のライトアップと海) 夜の港の風景を彩るセリオンのライトアップ。ブルー、レッド、クリスマスカラー、紅白など、様々な色や模様を変化させ、市民を楽しませている。周辺の工場、船舶などの照明も加わり、秋田港の夜景が一体となり、素晴らしい景観をつくりだしている。

10 港の風景 (セリオンの眺望) 平成6年(1994年)にオープン。セリオンという名称は、全国から寄せられた6,300件の応募の中から選ばれたもの。地上100m展望室からは360度見渡すことができ、秋田市のシンボルである太平山や市街地の男鹿半島や島山を望むことができる秋田市随一の眺望スポット。

10 港の風景(夕日) 秋田港にある倉庫や工場を照らしながら夕日が沈む黄昏時は、少しずつ水平線が赤く染まり、幻想的な景観をつくりだしている。沈みゆく太陽と日没後の色合いの変化が織りなす景観は感動的である。

秋田市景観マップ | Akita city Landscape Map

15 旧国道から見える港 清水水公園の丘を下る旧国道から見える秋田港と青い海、そしてセリオンは、四季折々の素晴らしい景色の移ろいを感じることが出来る。好天時には、遠く男鹿半島を望むこともできる。

16 新城川の桜並木 平成15年(2003年)に植樹した桜が飯島地区の4町内会により結成された新城川桜植樹会が維持管理している。さくら祭り期間中にライトアップされた桜が新城川に映し出される景観は幻想的。

17 秋田高専 昭和39年(1964年)に設立された国立工業高等専門学校。秋田市飯島地区のシンボルックが近代的な建物が特徴。管理が行き届いている松や芝生など、建築物と植栽のコントラストも素晴らしい。

18 飯島神社 上飯島駅の南約900mに鎮座している。飯島地区のお稲荷さんであり、飯島全域の氏神である。真っ赤な鳥居や神狐、神社の象徴である松林が厳かな景観をつくりだしている。

北部地域 | Northern Area

19 土崎駅のステンドグラス 明治35年(1902年)に開業し、地域住民や多くの学生に利用されている。平成24年(2012年)にリニューアルされ、港町にあるモダンな外観をコンセプトとし、レンガ調の外壁やステンドグラスが施されており特徴的である。駅舎の照明に映し出されるステンドグラスは、幻想的な雰囲気を醸し出している。

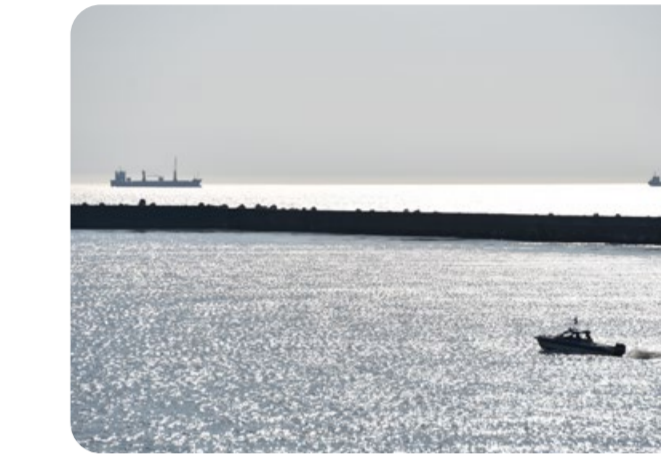
20 外旭川の油田 秋田市郊外を流れる草生津川一帯の八橋地区、外旭川地区は、古くからの大産油地帯。昭和30年(1955年)前後には年間25万kl超を生産しており、国内最大級の油田として栄えていた。外旭川にある秋田市卸売市場の近傍に「日本一大油田発祥の地」の石碑がある。今も稼働するポンピングユニットが数機あり、当時の様子を思い起こさせる。

21 自衛隊通りの桜並木 陸上自衛隊秋田駐屯地前の通称自衛隊通りの約1.7kmの桜並木。昭和34年(1959年)以降、付近の町内会の人々が緑化運動の一環として植樹し、今も愛されている。見出しの良い通りに沿って植えられた桜が一斉に満開になる4月は、往来する人々の心に安らぎを与えてくれる。

いつもの場所、知らない景色に会いに行く。

22 金足から添川の田園風景 金足から添川を通る県道秋田昭和線は、道路の両側に田園風景が広がり、春の田植えから、青々と地を埋め尽くす夏、そして、秋には黄金色の穂穂のように広がる景色を見せる。

23 飯岡山からの景色 標高38mの飯岡山。山頂には、天保9年(1838年)山神の石碑がある。緩やかな傾斜を登ると山頂から、近郊の田園を望むことができる。



24 秋田マリーナからの海 秋田港から出戸浜方面へ向かう途中にある秋田マリーナは、マリッジャーの中心地。男鹿半島まで続く海岸線や日本海に沈む夕日や綺麗な星空など、素晴らしい景観を楽しむことができる。

6 北に付近の田園風景 (秋田厚生医療センター付近) 秋田市内から秋田北インターに向けて進むと、田園地帯が広がってくる。米どころ秋田を象徴する田園や山並みは、春の田植えから秋の稲刈り、山の紅葉など四季折々に移ろいを感じさせ、その変化が生活と心を豊かにしてくれる。

7 上新城の山並み 秋田市北部の土崎地区から北東へ約4kmに位置した所が上新城地区。昔と変わるぬ川、水田、山並みなどの自然風景が素晴らしい。見渡す限りの水田の中に、鎌刈盛の一本松がぼつんと立っており、とても印象的。

8 大滝山自然公園 昭和49年(1974年)から6年の歳月をかけて整備された公園で、その広さは約109ha。大滝山自然公園のシンボルである標高11mの大滝、水遊びのできる遊水路や季節の樹木を楽しみながら散策できる遊歩道もあり、多くの市民が自然に触れ、体感できる貴重な場所となっている。

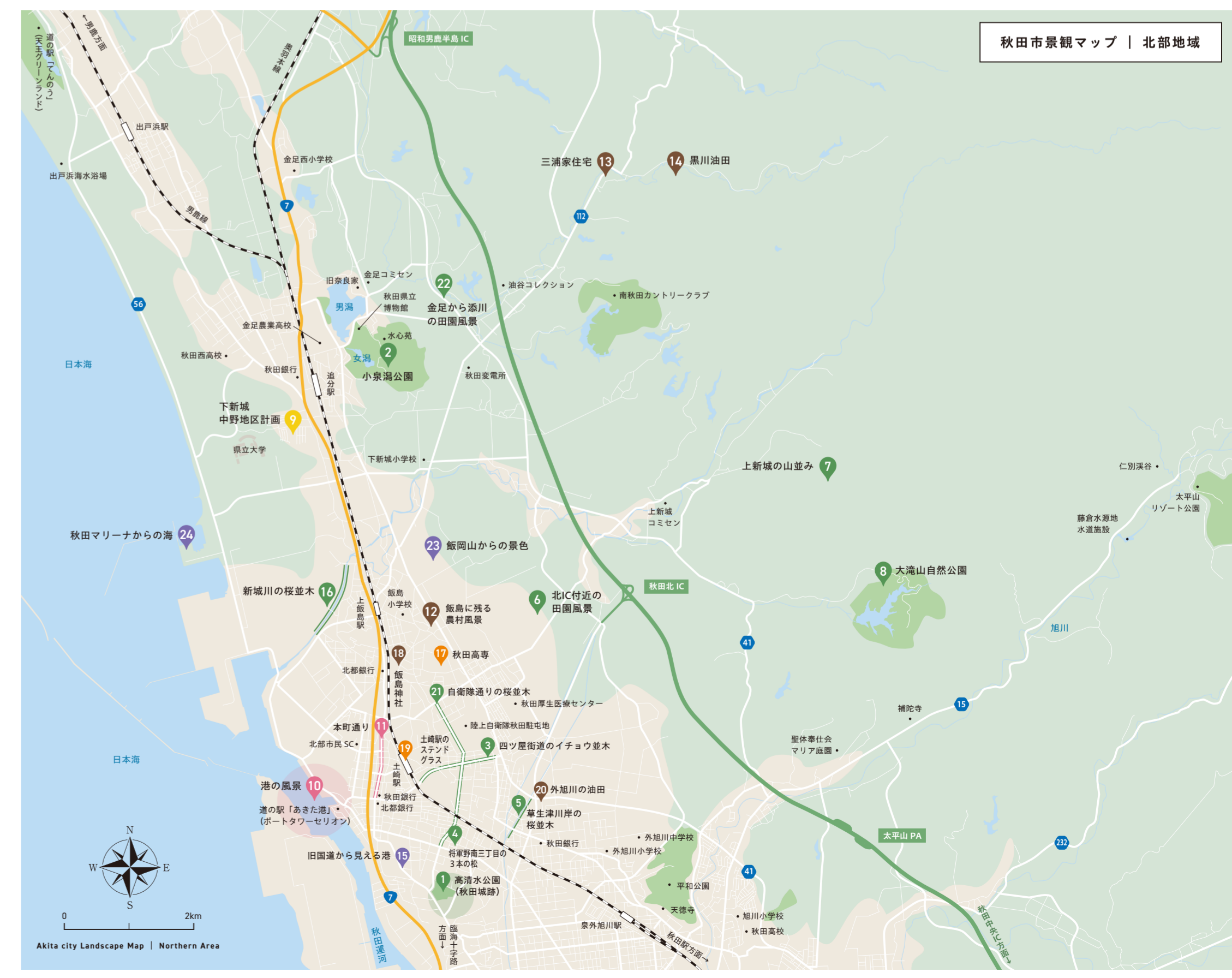
9 下新城 中野地区計画 下新城中野地区計画区域は、秋田市の北部、JR追分駅から約1kmに位置し、西側には秋田県立大学がある。既存の住宅環境の維持・保全に配慮しつつ、新規開発住宅地区では、低層戸建住宅地を形成し、新規開発沿道地区では、サービス施設の立地を誘導し、良好な住居環境の形成を図ることを目的としている。生垣の推奨やセットバック等による閑静な住宅景観がつけられつつある。

11 本町通り 旧羽州街道である本町通りは、土崎神社祭曳山行事のメイン通りである。大正初期の建造物などが点在し、歴史的風情を残す通りである。

12 飯島に残る農村風景 昔ながらの農家の倉庫が現存し、入り組んだ道のあちこちに農村風景が残っている飯島地区。秋田らしい田園風景が広がり、稲刈りの時期には、黄金色の穂穂が広がり、壮大な景観を見ることが出来る。

13 三浦家住宅 三浦家住宅は、秋田市の東北部、金足黒川地区に位置し、旧奈良家、嵯峨家と並び県内屈指の家農屋敷で、平成18年(2006年)に国の重要文化財に指定された。農村地帯の中の高台に、屋敷林に包まれた厳かな館が、周囲の景観のアクセントとなっている。

14 黒川油田 秋田市金足黒川小草津にある日本有数の噴出量を誇った黒川油田。黒川ロータリー式5号井は昭和43年(1968年)、近代化遺産保護政策の先駆として秋田市の文化財に指定された。その名のとおり、黒い油が産出することで知られ、地名である小草津も臭水に由来する。



※この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用しています。

【景観要素の分類】 自然景観 住宅地景観 業務地景観 拠点景観 歴史的景観 眺望景観